

ユニフォームについて

目次

1. 服装規定改正案
2. 改正に至った経緯
3. 改正案の説明

1. 服装規定改正案（追加部分は赤字にて記載）

【ポロシャツ】

1. 襟付きのシャツを着用のこと。
2. 競技においては自校のユニホームを用い、ユニホームなき場合は無地のゴルフウェアを着用のこと。
3. 襟無し半袖シャツ（ハイネックシャツ）、袖無しシャツ（ノースリーブシャツ）、着丈の短い（おへそが見える）シャツの着用は認めない
4. 襟付きシャツは華美なものではなく、学生らしいのものを着用のこと。シャツのデザインに関する規定は以下の通りとする。
 - ・下記例外を除く部分は全て完全に無地のものを使用しなければならない。 薄い同色で模様が入ったデザインも不可とする。
 - （例外：大学名、大学のロゴ、個人氏名、メーカー等のロゴ、袖回り襟回りのライン、襟裏の柄、下前立ての柄）
 - ・メーカー等のロゴは3箇所以内とする。（大学名、大学のロゴ、個人氏名は含めない。）
 - ・メーカー等のロゴ1つ当たりの横幅と縦幅の長さを足した値が30cm以内でなければならない。
 - ・袖回り、襟回りに入るライン（幅1cm以内）は可とする。
 - ・襟の裏側の柄は可とする。
 - ・下前立ての柄は可とする。
5. 学校名を必ずつけること（胸のところ、首の後ろ、袖のところ、一カ所以上）
6. ポロシャツの裾はズボンやスカートの中に入れること。

【アンダーウェア】

1. ストレッチ素材のもので、上には半袖ポロシャツを着用のこと。
2. ストレッチ素材でないもの（長袖Tシャツ等）の着用は認めない。

【ズボン】

1. 無地のもので、色は白・黒・グレー・ベージュ・紺に限る。
2. 股上の浅いもの、カーゴパンツ、ライン（前後、側面全て）の入っているものは着用禁止。
3. 男子の短パン着用は不可。
4. 女子はスカート、ハーフパンツの着用を認めるが、ひざ上10センチ以内とする。7分丈のパンツ着用は不可。

【ベルト】

1. ベルトの幅は3.5センチ以内とし、華美な装飾を施しているもの、大きなバックルのついたベルトは着用不可とする。

【防寒着】

1. セーター、ベスト、ウィンドブレーカー、レインウェア等を着用する際も、その下にポロシャツを着用すること。
2. セーター、ベスト、ウィンドブレーカー、レインウェア等は華美でないものを着用することが好ましい。
3. クラブハウス内ではレインウェアを着用しないこと。

【頭髪】

1. 他人に不快感を与えるような髪型、染髪を禁ずる。

【装飾品】

1. ピアス、貴金属類のアクセサリは着用禁止。節度を守ること。

【コース来場時、移動時、式典参加時の服装】

1. 学生服またはブレザー、革靴（黒または茶）を着用のこと。
2. 夏季期間中（6月～9月）は学生服またはブレザーの着用はしなくとも持参すること。
3. クラブハウス内ではジーンズ類、Tシャツ、サンダル等、ゴルフ場に相応しくない格好はしないこと。

【ミーティング時の服装】

1. 自校のユニホーム、学生服、ブレザーのいずれかを着用すること。

【着帽の徹底】

1. 危険防止、日射病防止のため、プレー中は必ず帽子を被ること。
2. サンバイザーは不可。
3. スタート時に帽子の無い者は失格とする。

【コースに付設したロッジ、ホテルでの服装、行動】

1. クラブハウス内での入浴、食事の際はジャージやスウェットの着用は自粛すること。（襟付きシャツを着用し、スリッパで館内を歩き回らないこと）
2. 浴室で黒髪に戻すことのないよう、事前に染髪を行ってくること。
3. 浴室で使用したタオルは、きちんと指定場所に片付けること。
4. 廊下で騒がないこと。部屋の備品を壊すことのないよう静に過ごすこと。
5. 夜遅くの外出は控え、早めの就寝を心がけること。
6. クラブの関係者、スタッフの方へ積極的に挨拶すること。

【練習場での行動】

1. 周りの迷惑にならないよう、私語は慎み、騒がないこと。
2. 練習後は現状復帰して退場すること（ゴミ処理も忘れずに）
3. 来場、退場の際は挨拶をきちんとすること。

※上記の違反について、競技委員より指示があった場合はそれに従うこと。従わない場合は当該競技への参加を認めない。

※大会の開催コースのドレスコードは、関東学生ゴルフ連盟服装規定よりも優先する。

※この規定は練習ラウンド（合宿等の課外活動を含む）においても適用される。

2. 改正に至った経緯

去年まで

ユニホームに関する明確な規定がなかった。

↓

各大学からユニホームに関する問い合わせを受けたとき、曖昧な判断しかできなかった。

大学側も「どこから華美なデザインに当たるのか」分からないまま選んでいる状態。

今年から

→学連の規定に文章化したい

- ・判断基準の統一化と明確化のため
- ・大学側の混乱の回避のため

3. 改正案の説明

<ユニホームデザインの意義>

- 学校の個性を表現するため
- × 他大よりも目立つため

不必要に目立つことなく、大学の個性を表現できるような規定を目指した

・完全無地について

薄い同色の模様が入ったデザインが問題となった。

「薄さ」に関する基準を設けることが困難。

⇒混乱を避けるために薄い模様も不可とした。

<参考>



・メーカー等のロゴの制限について（幅制限、個数制限）

「個性」が表現されるポイントだと考え、比較的緩い制限にした。

「3個まで」…両方の袖に1つずつのロゴ、胸に1つのロゴがあるものが可となる基準。

「横縦幅合わせて30cm」…よほど大きいロゴでなければ30cmの基準は満たす。

<参考>



（例：ロゴが大きすぎる&多すぎる）



（例：ロゴが大きすぎる）

⇒華美と判断。

⇒ロゴの大きさ、ロゴの数を定めておく必要有りと判断。

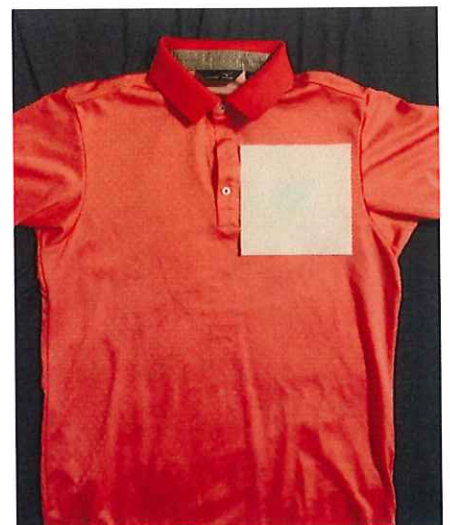
・縦横幅合わせて30cmについて

以下の写真が縦横幅合わせて20cm、25cm、30cmのもの（ポロシャツは男子Lサイズのもの）

(10cm×10cm)

(12.5cm×12.5cm)

(15cm×15cm)



⇒15cm×15cmが目立たない上限と判断。

・襟回り、袖回りのラインについて

現行のユニホームで、襟回り、袖回りにラインが入ったデザインが多く見られる。

⇒華美な印象を与えるものではないと判断。

⇒ラインについては可とする文章を加えることとした。

「ライン」を明確化するために「幅 1cm 以内」という記載を加えた。

・襟裏、下前立ての柄について

シンプルなデザインの「アクセント」として多くのユニホームで柄が入れられている

⇒そもそもあまり目につかない部分で華美な印象を与えるものではないと判断。

⇒襟裏、下前立ての柄は可とする文章を加えることとした。

<参考>



(例：襟裏の説明)



(例：下前立ての説明緑の部分)

・防寒具について

ポロシャツの規制をいくら厳しくしても防寒具が自由だと、冬場は規制の意味がないのでは？

⇒しかし、防寒具は材質、形状、デザインが多様多様。

⇒ポロシャツのように「無地」という基準を設けることすら困難。

⇒防寒具に関しては「華美でないもの」を各大学の判断に任せることとした。

・その他の衣服について

アンダーウェア、ズボン、ベルト、頭髪、装飾品、帽子に関しては現行の規定で問題ないと判断したため、変更を加えていない。